

日本銀行本店

重要文化財

設計:辰野金吾

竣工:明治29年(1896)

住所:東京都中央区日本橋石町2-1-1

交通:営団地下鉄半蔵門線三越前駅徒歩1分



この地は、江戸時代、金座として栄えたところだったという。隣が三井本館、斜め向かいが三越百貨店本店と重厚な建物が並んでいる様子は壮観。

設計者の辰野金吾【たつのきんご・嘉永7年(1854)～大正8年(1919)】は『日本近代建築の父』と呼ばれた人で、この日本銀行本店の他にも小樽支店など、全国各地の日銀支店の設計を手がけている。辰野はレンガに白い石の帯でアクセントをつける様式を特に好んだことから、この様式を『辰野式』と称することもある。その真骨頂が中央停車場(現:東京駅)といってもよいだろう。

しかし、この日銀本店では、本店という性格を考え、レンガ造りでありながら、敢えて全体を石貼り(瀬戸内産の御影石を使用)とする事によって、荘重な格式を醸し出している。

昭和49年(1974)、国の重要文化財に指定された。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。